

第5回 甲田地区小学校統合準備委員会 要点録

開催日時：平成 26 年 10 月 14 日（水）午後 7 時～9 時 30 分

開催場所：甲田支所（2 階会議室）

参加状況	<p>■委員会委員（敬称略）</p> <p>◎豊原 稔和 甲立小学校区内の振興会代表（委員長） 明木 一悦 小田小学校区内の振興会代表 今村 佳岳 小田東小学校区内の振興会代表 原田 和雄 甲立小学校保護者会の代表 田邊 介三 甲立小学校保護者会の代表 足助 智恵 小田小学校保護者会の代表 ○新田 敦宏 小田小学校保護者会の代表（副委員長） 岩田 幸雄 小田東小学校保護者会の代表 岩谷 典亮 小田東小学校保護者会の代表 秋岡 賢慶 甲立保育所保護者会の代表 原田 久美子 小原保育所保護者会の代表 富永 美香 小田東保育所保護者会の代表 山平 弥生 甲立小学校の校長 川本 和暁 小田小学校の校長 信末 実智則 小田東小学校の校長 宮本 直彦 甲田中学校の校長</p> <p>■安芸高田市</p> <p>叶丸 一雅（欠席） 安芸高田市教育委員会教育次長 可愛川 實知則 安芸高田市子育て支援課課長 土井 実貴男 安芸高田市教育委員会教育総務課長 柳川 知昭 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係長 倉田 英治 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係専門員</p>
傍聴	4 人
会議次第及び資料	<p>会議次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 諸般の報告 3. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 前回の提案事項について (2) 学級編制について 4. 事務連絡 5. 閉 会 <p>【資料】</p> <p>1：甲田町内各校の学年別児童数及び学級数推計</p>
会 議 概 要	
事務局	<p>1. 開 会</p> <p>第 5 回目の甲田地区小学校統合準備委員会を開会致します。本日、叶丸教育次長は所用のため欠</p>

	<p>席させていただきます。</p> <p>それでは進行の方は、豊原委員長さんのほうでよろしくお願い致します。</p>
委員長	<p>皆さまお疲れさまです。まず初めに、前回の放課後児童クラブの報告等を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>2. 諸般の報告</p> <p>前回、質問等があった件につきまして、報告をさせていただきます。</p> <p>まず1点目ですが、放課後児童クラブについては、本日担当の課長が出席しておりますので後ほど説明させていただきます。</p> <p>2点目に、前々回提案した通学方法の関係で、自転車通学している、向原小11人の児童館利用の実態はどうかとのことでしたが、確認したところ、向原小に自転車通学している児童は児童館を利用しておりません。児童館のルールで基本的には保護者が迎えに行く必要があるということなので、子どもが一人自転車で児童館に寄って、また家まで自転車で帰ることは認められていないという状況です。</p> <p>私からの報告は以上でございます。続いて子育て支援課の方から報告いたします。</p>
子育て支援課長	<p>子育て支援課長の可愛川と申します。今回の会議から出席させていただきます。前回の会議において放課後児童クラブについての論議をさせていただいたところではありますが、質問に対してお答えできなかったということで、今回、遅れた形ではありますが、参加させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>基本的な考え方については、前回提案のとおりでございますが、子育て支援課として、放課後児童クラブについては、統合する学校の敷地内に設置し運営するというところでございます。その中で特に国が示していますように空き教室を使うというのが基本でございますが、統合ということで、空き教室がないということも充分想定されます。そうした場合には、同じ敷地の中でそういう施設を作っていきたいというふうに考えております。少子化でございますから、将来の人数を計算したうえで、例えばプレハブ教室のような形での整備ということも視野に入れていただいております。統合後の学校にクラブを設営する考え方の元になっていまして、この事業は児童福祉法の中かで定められた国の事業でございますが、国の通知の考え方が、昼間過ごしている子ども達と同じメンバーで限りなく移動することなく、移動によるリスクがない形での放課後の預かりを行いたいというものでございますので、それに則って今の考え方があるというふうにご理解いただきたいと思います。前回の議事録を見ますと、皆さま方の統合への条件について様々なご意見を頂いているのを読ませていただいております。そのような意見を視野に入れて検討させていただきたいと思っておりますが、基本的な考え方は、今、申しあげましたとおりでございますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。放課後児童クラブの件について疑問点等がありましたらご発言をお願いします。いかがですか。</p>
委員	<p>児童クラブについてですが、基本的な決まりや、広さなどの条件的なものは定められているのでしょうか。</p>
事務局	<p>児童クラブを運営する上で国が示しているガイドラインがありまして、それに則って運営いたします。面積的には、一人当たり1.65㎡の面積が必要という最低基準があります。</p>
委員長	<p>来年以降、小学校に入学される保育所の方で、児童クラブを利用したいという方がいらっしゃいましたら身近なことなので聞きたいことがあればお願いします。</p>

委員	<p>前回、小原地区では地域振興会で児童クラブが運営できればいいという案が出ていましたが、子育て支援課長さんが言われるには、できるだけ移動はない形でと言われたので、もし小原地区で地域振興会が運営したいということになれば、その辺りが基本とずれてしまうのではないかと思ったのですがいかがですか。</p>
事務局	<p>前回の議事録を見まして、地域で運営したいということは承知しております。端的に言えば、我々が考えているものとは違いますが、そういったことが全国にはないのかと言われれば、広島県にもあると思います。ただ、運営をしていただくには、面積の問題であるとか指導者の資格の件が必要となります。</p> <p>例えば、保育士・教員の資格のようなものが必要という基準がありますので、最低限それをクリアしていただくことと、運営する上で補助金をもらうための条件というものがありまして、最低、常時10人以上とかいくらか条件があります。その条件をクリアした中で実施できるものということとで検討は十分できると思います。悪いことではないと個人的には思っています。</p>
委員	<p>広島県内にもあると言われましたが、例えばどの辺りでしょうか。</p>
事務局	<p>例えば新聞の記事で、安佐北区可部の三入でしたか？地域の経験のある方が子どもさんを預かっているという記事が載っていましたし、県北の方でも地域でやっておられるところがあったように思いますが、具体的には承知しておりません。</p>
委員長	<p>その他ございませんか。</p>
委員	<p>前回の質問で、夏休み等の長期休暇の時に、時間帯の変更をやってもらえるとありがたいという意見が出ましたが、そういった対応は可能ですか。</p>
事務局	<p>現在、長期休暇の時は、8時から18時30分までということとでやっております。安芸高田市の場合は運営時間を条例で決めておりますので、時間を延長することは変更できないことではありませんが、体制の問題が出てきます。</p> <p>安芸高田市では平成22年4月に朝30分、夕方30分延長してきた経過があります。今の運営時間がお勤めの保護者に対応しているかは別の論議として、実際の県内のクラブの状況を調べてきました。殆どのところは、8時から18時までというのが、県内の状況であります。18時30分までやっているのは、安芸高田市と庄原市、若干小さい町でもありましたがそういう状況です。運営する職員の体制も必要になってきますので、現状では我々の立場からすれば、今の運営時間でなんとかならないかなというふうに思っています。ただ、統合されることによって送迎の時間がかかるという論議がでてくると思いますので、これは検討して行くというところでご理解いただければと思います。</p>
委員長	<p>児童クラブについては、18時30分までですが、保護者の方に負担のかからないような形で検討いただくということでの課題事項として、後日の協議事項としておいてもらえればと思います。児童クラブについては、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本日の協議事項に入ります。事務局の方から説明をお願いします。</p>
委員	<p>「協議項目第8号 学級編制」について提案いたします。</p> <p>学級編制につきましては、法の基準に従って行うものでございますが、提案内容として、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律第四条の規定及び、県の教育委員会が定めた基準により行うとするものでございます。</p> <p>現在の広島県教育委員会が定めた学級編制基準につきましては、記載のとおり、同学年の児童で編制する学級は1.2年生が35人学級、3年生以上は40人学級、複式学級の場合は、通常16人、1年生を含む場合は8人となっています。</p>

	<p>この基準に従って学級編制した場合の児童数予測は次の資料のとおりとなります。</p> <p>※以下、資料により児童数の予測を説明</p>
委員長	<p>学級編制のことについてご意見がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>学級編制のことですが、説明を受けて数字を受け止めた状態で、ただ以前から会議で言っていますが私自身、統合が必要かどうかを迷っている状態です。新設や小中一貫校の話があったりしましたが、財政の厳しさの資料を見たりして、どうなんだろうという思いを持ちつつも、だからと言って、統合するのは果たして地域や子どもにとっていいのかどうか、正直わからない。</p> <p>統合準備委員会の流れを見ていますと、当然だとは思いますが統合に向けて話をされて、今日もこういった数字を出されて、学級編制について話し合いましょうと言われても、このままの数字を受け止めるしかなく、推計ですしどうなるかはわからないですが概ねの予測がされています。</p> <p>私が言いたいのは、準備委員会の進め方とか意味みたいなものをもう一回おさらいしたいなというのがあります。学級編制や児童クラブなど、教育委員会の方も我々委員に協議してもらうことをひねり出すことも大変だと思いますが、具体的に合併する場所とか、準備委員の間でも合併する気分が上がっていないような気持ちの中で、具体的な話をしたいと思って、この春から準備委員会でやってきましたが、4回重ねても、ピンとこないんです。もう一回、原点に戻るじゃないですけど、準備委員会の持ち方や、統合することがどうなのかというところを話してみるのもいいのではないかとこの気がするんです。ひっくり返す気はありませんが、そこが確認できないままでは議論にならないと私は思っています。保護者が集まったとき、みんな考え方はバラバラですが共通して言えるのは、すごく腑に落ちていないという感じなんです。もうちょっと、はっきりさせないと先に進めないのではと思います。他の保護者の意見も聞いていただきたいと思います。</p>
委員	<p>今まで話をしてきた中で協議事項は色々ありますが、結論事項は出たのかなと考えたときに、何も出てない…。結論が出てないな…っていうモヤモヤ感があるんです。新しい協議項目の話をされる教育委員会側の気持ちはわかりますが、ちょっともう一回、ひとつひとつ整理したいなと思うんです。</p> <p>今までの協議項目の説明を受けたままで、何も踏み込めてないまま次にいくので、協議事項が進んだだけで、「協議しました、終了」ということは嫌なんです。今一度、一番最初の原点といいますか、「学校の位置をどうするのか」という部分を、もっとしっかり結論を出したいなというのが正直な思いです。次の議題ではなく、今まで話してきた議題をもっと練っていきたい。私も含めてですが皆さんの意見を聞いて、もっと練りたいなと思っていますので、そういった話ができたらいいなと思います。</p>
委員	<p>複式学級編制は特別支援学級の児童も一人に含むという解釈でよろしいですか。</p>
事務局	<p>全員が普通学級に入学として見込んだ場合の数字で、特別支援学級の児童を含めての計算ではありません。16人は複式学級、17人からは分かれることとなります。</p>
委員	<p>資料を見て、複式になっているのは小田小だけですね。教育委員会の考え方は、複式にならないためにも適正人数ということで、それもひとつ統合の理由ですか。</p>
事務局	<p>複式を解消する目的が、学校規模適正化の目的のひとつでもあるかということですが、まさしく安芸高田市学校規模適正化推進計画の中には、複式を解消するという表現ではないですが、過少規模校または小規模校を解消するという目的もひとつありまして、要綱にも記載されており複式を解消すると同じ意味になります。複式学級ではいけないのかという議論が確かにありますが、計画の中では複式学級のメリット、デメリットが細かく分析されておりまして、推進計画の基になっている適正化委員会の答申の中に、その辺りが詳しく分析が入っております。複式学級のいいところ、</p>

	課題になるところもありまして、それを踏まえて推進計画が作られていますので、複式学級を解消するという目的でこの計画が作られているというのは、事実でございます。
委員	私自身、複式で学んだ経験がない中で、こうやって数字だけを出されてもイメージがつかないということがあります。例えば、実際の複式学級を見に行く機会を作っていただくことはできないのでしょうか。
事務局	できないことはないと思います。実際に複式学級がありますので保護者の方全員に見ていただくことはできませんが、委員ということで不可能ではないと思いますので、こちらの方で持ち帰って検討させて下さい。統合したところの視察の話も出ていたので、それらも合わせて一緒に検討させていただければと思います。
委員	<p>資料を見ると、来年からずっと複式学級になって、小田小は児童数が減って統合しなかったら複式が当たり前前の学校になりますよね。私の子どもたちは複式学級で育っていくのだなという現実があります。いま原点に戻ってもう一度という声がありましたが、実際、親としての意見は、複式に不安を抱えている保護者がたくさんいます。</p> <p>統合するまでの期間、複式で1年学んで、統合後普通のクラスで学ぶことになるのであれば、その複式の期間が勿体ないじゃないけど、もし、叶うのであれば「再来年、統合します。その代り1年間は複式を待って下さい」という訴えができるのかということが、保護者同士の話の中で上がったりしていて、この意見が多かったのも、殆どの保護者は複式に対してよく思っていないと思うんです。</p> <p>結局、国が決めていることで特別なことはできないということを知ったので、私としては、統合はやむを得ないのかなという気持ちに変わったのですが、他の保護者の方の気持ちもあるので…。</p> <p>切実な問題なのは小田小だけで、他の2校はそれぞれで成り立っていくじゃないですか。この間小田小の公開授業を見に行くとときも複雑な思いで見えていたのですが、この学校がなくなるのは寂しいと思う反面、人数が少ないからどうなのかなとか、授業を見ていると、小さい子どもは1時間かけて先生が教えてくれたことをやっとなら理解していく現状の中で、半分の時間で教えるということに不安があります。だから、「統合をするのであれば進めて行く」という気持ちを今日は強く思ってきたのですが、それにあって委員さんたちが言って下さった「結局、結論が出てない」ということが、そうだなと思って。私たちは色々聞いてきて説明を受けて、そうなのかなと思うだけでこのまま統合に向けていきますっていうのも、私たちの訴えというか願いは届くのかなという不安もあります。統合するって決まるのであれば、それに向けてたくさんの要望も出るだろうし、それをどこまで聞いて下さるかかわからないですが、子どもが一番なのということです。</p>
委員	この統合が決定なら、1年なり2年なり複式は待ってもらえるんですかね？
事務局	複式に係わってたくさんの不安があることはよくわかりました。今の質問ですけど、仮に平成28年の統合ということになれば、統合前の27年度については、特別に複式解消加配という制度があり、特別に先生が1名プラスで増員されて、複式を解消するという制度があります。
委員	ありがとうございました。
委員	協議項目が学級編制について、広島県教育委員会が定めた学級編制基準により行うとありますが、協議していく中で、例えばこの地区は守らないことができるのですか。
事務局	基準通り行いたいという提案でして、よく他の地区でも出るのですが、例えば40人ではなく35人にしてほしいとかの意見はありますが、そうすると安芸高田市独自で先生を採用するといったことになりますので、広島市とかで例はあるかもしれませんが、基本的には今まで通り県の基準に則ってやりたいと思っています。

委員	<p>協議する余地があるのかなと思ったのと、複式がどうしてもいやだというのであれば、16人のところを5人とか独自に人数を減らすということが出来るのなら、複式は解消できるのではないかなと考ただけであって、できないならしょうがないです。</p>
事務局	<p>多人数の学級に対応するという点でいけば、今もやっていますが、市長の政策で学習補助員の配置を安芸高田市ではやっていますので、そういった点で補助していきたくと思っています。</p>
委員	<p>委員さんに質問です。複式よりも単式でというのはわかりますが、人数の問題ですか、先生の数が一人になるからという問題なののでしょうか。</p>
委員	<p>先生が一人になるという問題です。</p>
委員	<p>では、いま言われたように、統合したらそれに対して加配をつけるけど、複式だとダメだというのはコスト面で言えば高くつくのはわかりますが、それ以外に理由があるのですか。例えば基準があり、広島市なら財政規模が大きいからできると言われますけど、安芸高田市は子どもの教育よりもそっちを優先するという話なのか、まだ私は理解できていない。いろんな見立てがあると思うんです。例えば複式にして先生は一人です。複式にしても例えばチームティーチングさせる、それは先生を雇う発想ではなくて、地域の人に入ってもらって一緒にやってもらうとかいろんな考え方があると思うんです。浜松の例で言いますと、外国人が多くて日本語が難しくそこに入ってくる地域の方は、ボランティアなんです。そういう形でも運営できているんです。これは、教育委員会が認めているからです。だから、いろんな方法を考えれば複式じゃなくても、それはできるんじゃないかなと思うのがひとつ、まだそこが私はよく理解しきれてないです。</p> <p>2011年度の報告書があるのですが、複式にはメリット・デメリットがありますと聞いていますが、40人学級にしたときには、どういうメリット・デメリットがあるのか、まだ教えてもらってないと思います。その中で、言われているのははじめの問題、一人一人目が行き届かなくなると書かれているので、どっちがいいかという話ではなくて、そういうところも比較対象として見せていただいたらという気がします。</p> <p>因みに、学校の子どもたちのことについては、保護者の方がたくさんいらっしゃいますが、私は地域の代表で来ているので、地域のことで言えば、地域における学校というのは中枢であって、いろんなことを育んでいる。それを無くすことってというのは、地域の片翼を奪ってしまうと聞いて、そういう考え方もあるんだと思い、今後、地域としてどのように活用するかとかの話になってくると思いますが、今まで言われたように、まだ何も結論が出ていない段階で、多分行政のことなので、一応説明はして理解はして頂いていますという理解になってはいけないので、そこらも含めて複式のことと合わせて聞かせていただきたいのですが、基準はわかっていますけど、基準に対して教育委員会として、もし保護者なり地域が求めれば、複式に対して加配で対応する思いが教育委員会にあるのかどうか、それであれば、我々も一生懸命努力して、市長に訴えていけばいいと思うんです。だから、その辺りについてお聞かせ下さい。</p>
事務局	<p>複式学級の加配の件ですが、現在、学習補助員の配置基準に基づいて、多人数の学級では配置をしているということがございます。具体的に言いますと、中学校では1クラス35人以上、小学校で1クラス31人以上の場合に配置できる基準になっております。もう一つ複式の関係で言いますと、複式学級が複数ある学校については、1名ほど学習補助員をつけることができるという基準があると私は認識しております。例えば、小田小の例で言いますと29年度以降、複式学級が複数ありますので、学習補助員を1名つけることができます。仮に、1名配置しますと複数複式学級がありますので、必ず片方のクラスに学習補助員が授業を見ておれば、もう片方は担任が見ることになります。学校に一人配置されるので、その補助員が複数の学級を見ることは運用上あり得ると聞いています。二</p>

	<p>つ複式があつて2名配置ができれば委員さんが言われたような形が取れるのかもしれませんが、そういう基準にはなっておりませんので、現在のところは少し無理だと思いますが、市の制度でございますので、そういった要望が強い、もしくはそういう形を取っていこうということであれば検討の結果、100%無理ではないということになるだろうと思います。現在はそういった制度にはなっていないということでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>今の説明でご理解いただけたかと言うと、非常に理解しかねると思いますが、委員さんが言われるように、安芸高田市教育委員会として、他の市町村と異なった取り組みができないかというのがひとつの質問なのかなという感じがしたのですが、現況をどう打開していくかという形で検討していく他ないのかなと。学校が無くなれば、その地域が廃れるっていうのは、過去にも言われています。ただ、それをいかすのも地域の方だという逆の発想の観点から言えば、それも有るわけですからそういったものを全体で考えながら議論していかないとなかなか難しいのかなという気がします。</p> <p>当初、委員さんが過去の検討事項について、結論が出ていない、原点に戻ったらどうかという話がありましたが、基本的には統合校の位置については、条件を完備してそれから議論していくと皆さん話されたと思います。結論が出ていないということではなくて、課題は課題として残して、最終的な条件をどうするかということ、専門部会ではなく準備委員会で話していこうということでご理解して頂いていたと私は理解していましたが、いかがでしょう？</p>
<p>委員</p>	<p>委員長さんが言われたように確かに準備委員会で議論しよう、ある程度条件を聞きながら学校の位置決めへ移っていくとか、具体的に決めていくと当初決めた気がします。</p> <p>ただ、やっぱり出されてくる資料も検証していないのでなんとも言えないのですが、机の上で議論しているし、ひとつの学校に絞った資料になっていない、3パターン用意して、それがいいのかなと思っていたのですが、どうしても議論が散漫になって、私自身迷っていますが「するしない」をまず決めないといけないと思ったんです。するならする、するって決めるのなら、どこっていう位置を決める時期に来ているのかなと思います。</p> <p>ここまで提案してもらって、しないなら当面しないで見送ることのもぼちぼち考えないといけない時期に来ているのかなと感じたので、それを決めるにあたって、もう一度、子どもたちにとってどんな学校がいいのか、統合した方がいいのか、複式ってどうなんだっていうところ、地域にとって学校が無くなることを、保護者ではありますが私たちも地域の一人なので、もうちょっと考えないといけないところなのかなと思っています。そういう意味でも、今までの話を聞いた上で、もう一度、原点に戻ったらどうかかなと思って発言しました。</p> <p>統合準備委員会の持ち方なのですが、保護者の意見を聞いても、統合を決めたことの後悔はしたくない、しないことと決めたことで後悔したくない、統合するならできるだけいい統合、学校にしたいという思いがあります。その中で、教育委員会の方とも真剣に膝を交えて、答申は無視できないという教育委員会の姿勢もわかりますが、今の現状でどういう統合が双方にとって、いい結果が得られるか、一緒に議論している感じがしない中で進められると保護者の気持ちも私の気持ちの中にも、モヤモヤとしたものが残ると感じるんです。</p> <p>委員会の形式として、大事な部分はわかりますが、なんとなくお互いの意見が見えにくいといえますか、腹を割って話している感じがしないっていうのを、多分私だけじゃないたくさんの方が思っていると正直思っています。ざっくばらんにもう少し距離が近い感じで話ができたらと思います。</p> <p>校長先生が委員として座ってらっしゃいますが、あまりご意見がないじゃないですか。校長先生としての立場とか言いにくい部分はあると思うんです。学校現場にいらっしゃる校長先生の率直な</p>

	<p>意見が聞きたいので、たまには委員長さんにも振っていただきたい。他の保護者は違う意見を持っているかもしれませんが、ある一定程度の結論めいたものを出していくところに差し掛かってきたと思うので、その雰囲気作りをしていただきたいというのと、もう一度原点に戻って議論するのはどうですかという意見です。</p>
委員	<p>最初の統合校の位置決めの際に、決めることは難しいので枝葉の話をしたり、細かいことを決めていくうちにどういった方向にすればいいとか位置決めとか決まるのではという考え方もあるなと思って、何回かやってきて前回児童クラブの話で、実際利用していないので議論にも加われないし、枝葉の話も大切だけど、そこの話をしていたからといって、本当に決まっていくのかと漠然とされていて、親が気になる通学費のことや児童クラブのことが出ましたが、通学路も3校の提案で結局意見が煮詰めなくて、集まっても議論したのかどうかかわからないままに帰った感じだったんです。</p> <p>位置が決まっていれば、もっと突っ込んだことが聞けるのですが、委員さんが言われたように、学級編制のことや細かいことは一旦止めて、校長先生も含めてみんなで一回話してみてもいいのではないかと思います。今日も、複式のこととか素直なことを聞けば、そうかと思う部分もあったり、ちょっと一回どんな気持ちなのか、私も統合に迷っているんで、今までのことを踏まえて、みんながどう思っているのかざっくばらんに話できたらいいなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。統合準備委員会の委員に各学校長さんに来ていただいています。実際の校長先生の立場としてご意見をいただくのは、非常に振りにくいというのが委員長としての意見です。現在、学校の抱えているいろんな課題等を聞いていく中で、納得するところもあるかもしれませんが、ただ、統合云々という問題が具体的な私の意見として出るだろうと思うのは、委員さんの言われたように、複式学級になったときの不安感が強いんだと思います。27年度から複式学級になり、結論付けると統合するので1年間の猶予をいただいて、単式学級も可能だと教育委員会の方から話された通りだと思います。</p> <p>教育委員会側と同じ席にして話をすればいいのではとありましたが、我々が回答できないことについては、教育委員会の立場として回答していただかないと実務的なところは私もわかりませんので、やはり基準は基準として、そこは話をしていただかないと前に進まないという気はします。</p> <p>議論の途中の中で、原点に戻って当初の課題を議論するのがいいのかどうか、それとも今まで通りある程度のそれぞれの条件を固めていって、最終的な統合校の位置や統合の時期の話をしていくのがいいのか、おそらく今の段階で言ったら、しばらく個々の議案を提示せざるを得ないという感じがします。それぞれ、委員さんの意見があると思いますので、いかがですか？</p> <p>現段階で、今後の議論の仕方をどうすればいいのか…。</p>
委員	<p>私は、さっきも言ったようにぼちぼち決める時期にあるんじゃないかなというふうに思っています。</p>
委員	<p>統合は28年度を目指していますよね？統合が進まない状況の中で、統合が決まったとしたら逆に28年に間に合うのでしょうか。</p>
事務局	<p>もし、28年4月に統合となれば、来年度施設の整備が必要になり、予算のことも絡んできます。先ほど言った複式解消加配も県の教育委員会にそのことを申し出る必要があります。であれば事務的には学校の設置条例を議会で議決していただいで、予算も要求して、施設整備してというように段階に入っていきますので、私個人のスケジュールですけど、今年中遅くても1月中ぐらいに統合という合意形成ができれば、間に合うようにスケジュールしていきますし、28年4月は大丈夫だと思っています。</p>

	<p>ただ、今 10 月なのでそんな余裕がないですから、今日の終わりには提案させていただこうと思っていましたが、一定の整理をするというのは事務局でも考えていまして、今まで事務局が説明してきた中で、説明をしたので皆さんは納得だろうということは思っています。最終的には、提案の下に意見をつけて書面的には完成させてひとつずつ整理をしていけばと思っています。今までの提案を一定の整理をするというのは当然必要であると思っています。</p>
委員	<p>協議結果の下に、確認日の欄がありますよね？確認というのは、同意という意味ですか。</p>
事務局	<p>協議結果のことについての確認ですから、例えば、協議結果が提案通りということになれば、そのことに同意と捉えて下さい。</p>
委員	<p>実際に決めないといけないことが山積みだと思います。まだまだ協議が足りないと思っていて、まず学級編制についてはもっと早い時期にやるべきだったと思っています。</p> <p>ひとつ聞きますが、一人当たりの教室の広さはいくらぐらいでしょうか。</p>
事務局	<p>基準のはっきりした数字は覚えていませんが、一教室 60 m²ぐらいだと思います。一人当たりは確認していません。</p>
委員	<p>一人についての基準で、教室の広さが決まると思いますが、実際に息子が中学校に通っているとき、教室がいっぱい、参観日に行っても入れない状況でした。小学校も今の広さだと多人数になったとき、教室に机を並べるだけでいっぱいになると思うんです。</p> <p>統合しても 15 人学級にしてクラスを増やせば、交流とかクラス替えができて、子どもたちにとってすごくいいと思います。こういったところを議論していくべきだと思います。ただ単に、30 人学級で決められているからではなくて、そういうことも完備をした協議を我々が提案したらどうかなというふうに考えるんです。</p> <p>8 学級になるということで、学校を改修しないといけないとなるなら、最初に出た意見の新しい学校を建設してもらうこと、財政的な提示をされましたが、当初言わせて頂いた中学校の併設も再度議論していただきたいと思っています。</p>
委員	<p>併設の小中一貫校のことを言われているのかなと思いましたが、そういった学校を作るかどうかということも含めての、するかしないかっていうことなんです。条件や予算を大まか聞いたんです。具体的に実現が可能か突っ込んだ話ができていない。それをするためにも、原点に戻って話をしましょうって言うていて、本当にするかしないのかわからないままに議論している状態に耐えられなくなってきているんです。「するしない」を決めてから議論しませんか。</p> <p>新しい学校を建てる新設校ですが、財政の状況を聞いたのでうやむやになっていますが、スケジュール的にもタイムリミットがあって、ここが分岐点の時期なのかなと思うんです。次の会議できめましようとは思わないと思います。</p> <p>結論が出なかったものをもう一回洗い直して、委員全員が「するしない」を決めてから、議論しませんか。議論しているのかしていないのかわからない状況で、時間だけが過ぎていっているような気がして非常に勿体ないと思うんです。</p> <p>教育委員会として特色ある教育、安芸高田市が他の町どこにも負けない教育を実現させてほしいわけです。そういう学校を作ってほしい。子どもたちや保護者、地域、町全体に取ってもメリットがあるから、できないことも多いかもしれませんが、そこで教育委員会事務局の方々の思いとかを話すために、ちょっと前に出てきてもらえませんかというのが私の提案です。</p>
委員	<p>統合するかしないか結論出した方がいいと思います。私の意見としては、統合した方がいいかなと思っています。次の段階への場所、学校をどういうふうに運営して、どういう特色ある学校を作っていくのかという議論の方がいいかなと。</p>

	<p>学習補助員は、人数の制限とかあって配置が難しいのであれば、引退された先生とか地域の方等、一時的に手伝ってもらったり、そういうことができればいいと思っていました。</p> <p>この場で決を取って、するかしないのかを私は求めたいと思います。</p>
委員	<p>学校規模適正化は小規模校を無くすことがひとつの目的と言われましたが、今までの資料の中に安芸高田市の次世代を担う子どもたちにとって、よりよい教育環境を提供するためにという文章があります。私はずっとこの合併の話が出たときから、「よりよい教育環境」ってなに？という話で、私が思っている「よりよい教育環境」と教育委員会側が思っている「よりよい教育環境」が、近いのか遠いのかわからない。今まで教えていただいた中で、今までの議論が私の思っている「よりよい教育環境」に近づいていると思えない。意外と話してみると、一緒だと思うこともあるかもしれないし、距離があるかもしれない。今の議論だとそこが全くわからないので、イメージがわからない。校長先生がおられるので、校長先生が思われる「よりよい教育環境」を聞かせてもらいたい。教育現場に必要なこと、子どもや親、教育に重要で必要なこと…それには何をしないといけない？を議論する場がここだと思うんです。それがいい中で、新設校がよりよい教育環境に必要であれば、何とかしないといけないと思うかもしれない。今ある3校でよりよい教育環境が作れるのであれば、それでもいいという話になるかもしれない。もしかしたら、複式学級の方がよりよい教育環境ですってなれば、人数多いけど複式にしようとなるかもしれない。そこを議論したいけど、思っているイメージがわからないまま議論しているので、例えば統合校を小田東小にしたら、この施設があって、こういった環境を子どもたちに提供できるから、今よりもっといい環境になりますよって言ってもらえれば、納得もできる。そういった結論をひとつひとつ出していきたい。そういう時期だと思うんです。そこをもっと掘り下げて、具体的に決めていきたい、皆さんや教育委員会さんが持っている「よりよい教育環境」とは、こうでこういう学校を作りたいって言ってもらいたいと思っています。</p>
委員	<p>具体的なイメージがわからないまま進んでいて、何も見えないまま進んでいる中で不安感を覚えるんじゃないかと思うんです。複式の話も実際どうなるのか見えない中で、想像でしかないわけですから、それを何らかの形で具体的なイメージ「合併してここになったらこうなる」というのを、ひとつずつビジョンにしていくことで話が前に進んでいくのではないかと思います。そろそろ、そういう段階に来ていると思います。</p>
委員	<p>第5回目ということで、皆さんが思っているように、話が進んでいない。私は統合する方がいいと思っていますが、統合するのであれば、いい統合というのがあります。5回してきて、絶対統合というわけではないですが、どっちかにしないと無駄になってしまうと思います。</p>
委員	<p>先ほど言われた「決を取る」とについては、どうかなと思っています。位置決めの話も早いと正直思っています。もちろん考えないといけないですが、「するしない」も結構重たい議論なので、これを決めるだけでも、少し前に進むのかなという気はします。</p> <p>個人的な意見を言わせてもらおうと、統合するとの意見が聞こえたので、した方がいいと思う人は、せめてどこっていつのを考えてくれてないと次にいかないという気がします。</p>
委員	<p>した方がいいという気持ちになっているけど、正直今ここでしようとなると、ちょっと後悔がある気がして、5回やってきて、今日の資料を見て身に染みたというか、この提案事項を先にしたら、もうちょっと違ったのにと私は思いました。先日の地域公開のときに校長先生から今度、複式の説明をしますと聞いて、保護者の方たちもいよいよなんだという気持ちや不安、重たく受け止めた感じ。人数や通学路、予算とかじゃなくて、統合したら小田小の田楽は継承するかしないかとか、もっと身近なところから話していきたいし確認していきたい。統合した方がいいとは思いますが、</p>

	<p>わからないことが多すぎて、統合したら多人数になって、複式で学ぶこともだけど、人数が倍になるのは、それもどうなのかなとも思うんです。今日は、まだ…するかしないかの答えはでないです。</p>
委員	<p>複式の話ですけど、私は多人数の多学級で学んだので、複式のことは全然わかりません。多人数でよかったこと悪かったことありますが、経験してきたことでしか自信を持って言えないので、複式は確かに不安です。何が不安かってよくわかってないですけど、何回か複式の話は出ましたが、私の中での結論はわからない。いいか悪いかは子どもの状態や周りの環境、先生と子どもの相性、先生の資質、クラスメイトの状況とかで変わってくると思うんです。複式でよかったって聞くと、複式で悪かったって話は聞いたことがありません。デメリットを解消するための工夫もこの場で話すこともできると思う。複式に捉われすぎると、大事なものが見えなくなってくるような気がして、複式でもいい学校にすればいい、複式じゃなくてもいい学校にすればいい。だから、なってみないとわからないでいいのかなと。それを想像できる範囲でいいものにしていく話はこの議論で、できると思うんです。統合しないと判断したときに、準備委員会は解散ではなく、来年から複式になる小田小をどうすればよくするにはどうしたらいいか、この準備委員会で考えようと言っていいと思っています。</p>
委員	<p>複式の話がずっと出ていて、複式と少人数制というのは違うと思うんです。そこをちょっと議論した方がいいと思います。以前、中学校の先生に多人数よりは少ない方がいいと言われたことがあります。統合は、いずれはしないといけないので、30人学級がいいのかどうかっていうことを踏まえた話をしていく方がいいと思います。皆さんも言われますが、少人数だといいところがあるんです。それを、複式にするかしないか、統合してクラスを増やして、少人数制にするかしないかの話も協議の中に入れてほしい。複式の話が先行している気がします。</p>
委員	<p>私は小田東地区なので、基本複式になることはありません。複式解消もだけど、多人数はどうかになっていう思いがあるので、安芸高田市としてのクラス編制や人数のことをどうしていくかとか、多くなることのメリット・デメリットや、もっと少人数がいいとかも議論していけばいいかなと今日聞いていて思いました。私は多人数のクラスでしたが、娘たちを見ていると20人ぐらいのクラスもいいなと思ったんです。普通学級で学ぶのが難しい児童でも、ともに学ぶことで成長できる部分はあるので、40人よりは20人ぐらいだとみんなの力を借りながら成長できるかなと思うんです。</p> <p>人数のことやどんな学校を作るかとか、安芸高田市としての考えを具体的にされた方が、話が進むのかなと感じました。</p>
委員	<p>町づくりの観点から言わせてもらおうと、クラスを増やすことによって教員の人数が増えます。統合してクラスを減らすことによって、教員が減るということは人口が減るということです。人口が減ることにも係わってくるし、町づくりの観点で人が減るとするのはマイナスなので、雇用についても教員の立場は職を失うことになりまますから、その辺りも考えるべきだと思います。</p>
委員	<p>統廃合の動機の中に、いろんな意見が出ていましたが、保護者側は財政難だからじゃないかとかありましたが、教職員の人員削減のためにこの統廃合があるんだとしたら、それは意味のないものだと私も感じます。</p> <p>あんまりいい案ではないなとは思っていたのですが、複式を解消するための案であれば、3校の合併ではなくて3校を2校にするのもあるのかなと。この案は、保護者の中で去年ぐらいから話をしていくときに最初から出てきた案ですけど、小田小が複式になっていくので、甲立小はちょっと距離があるので、地理的に言って小田東小と小田小がまず合併して、甲田町が2校になるのもひとつの案だと出ていました。私は最初、それはやめた方がいいのではないかと甲田町を一つの地域として考えたとき、3校を1校にした方がいいと思っていたので、あまりいい意見ではないと思いました。</p>

	<p>が、それも一つの選択肢かなと思いました。「するしない」の議論の先には、念頭に置いてもいいのかなと思いました。</p>
委員	<p>個人的には合併はせざるを得ないのかなと思うところがありますが、地域のことを考えて、いずれ中学校も合併となったときに、地元中学校がないということになると、そのことによって人口が減るということも考えた方がいいと思います。学校がなくなれば、他から来て定住することがなくなったり、例えば小田東の団地がありますよね、あそこも学校が近くにあるから家を建てるわけで、学校がなくなれば、家を建てることも少なくなると思うんです。その辺のところも考えていかないと、単純に合併することによって、経費が係らなくなるとかありますが、それは目先にことであって将来的なことを考えて多少は経費が係っても、やっていった方が人口も維持できるか増えていくことにもなるというようなことを思っております。</p>
委員	<p>いろんなところで聞くんですけど、小学校より中学校が先じゃないのかとか、中学校もいずれ一つになるんじゃないのかとかの話があるんですけど、実際、保育所の立場から言わせてもらうと、保育所が民営化して動いてきている中で、先に保育所が一つになってしまうと、小学校がまだ統合していなかったら、小学校に上がったなら三つに分かれ、中学校でまた一つになるっていうことになると、訳の分らないことになるので、上のことを見るのもですが、下のことも見てほしいというのが保育所の保護者としてはあると思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。先ほど、教職員の人員削減という話が出ましたが、基本的に教職員については市独自で雇用されている場合は別ですが、教員は県教委に属していますので、他所に異動ということになると思います。教員の人口減というのは職場なのでやむを得ないと考えられます。人口を増やす定住化等については行政の仕事ですし、地域がどういうふうな形で促進していくかというのは地域の課題として残ると思います。</p> <p>いろんな意見が出た中で、今まで5回重ねてきて、来年度以降の28年度の統合を目指すとするれば、基礎となる事項、いわゆる「するかしないか」と学校をどこにするのかの結論を出していかないとはいけません。ただ、私はこの場の多数決で結論は出したくないと思います。協議できるものは協議して行って、数の多数決は、あと問題が残りますので、皆さんの合意に基づいた上での結論付をしていきたいと思っています。</p> <p>今日の提案事項の学級編制で、問題になった複式学級の解消と統合後の学級編制の問題の中で、学級人数編制については統合条件の中で、要望事項としてまとめて頂いて、最終的には条件を満たせば統合になるんだろうと思います。統合は決めたけど、財政的であるとか総合的な条件は呑めないと議会が反発した場合は、当然無理だろうと思います。トータルの条件も含めて、皆さんが100%納得することは不可能だろうと思います。着地点はベストを求めるのではなく、よりよいベターを求めたいと思います。</p> <p>委員さんが言われた「よりよい教育環境」のことですが、保護者の方皆さんが思われている「よりよい教育環境」はあると思います。その意見は出して頂いて、ただ、保護者の方と校長先生とが同じ輪の中で腹を割って話すというのは、ちょっと難しいのかなと思います。運営上の難しさというのは、現実に校長先生がよくわかってらっしゃいますし、子どもの成長であるとか経験に基づいて学校運営されていますので、必要なときには意見を求めたりはしたいと思いますが、保護者の方の意見が出ていますので、校長先生に話を振ることは難しいと判断しております。</p> <p>今日の提案書については、結論ではないですが、複式学級解消するのであれば、統合を前提とした複式解消加配を考慮しないと難しいだろうという感じがします。学級編制の人数については、いろいろ議論する余地はあると思います。</p>

	地域の伝統というのは、教育振興部会で議論していくことになっていきますので、地域の守るべきところは守っていくという考え方が当然必要だと思います。
委員	教育委員会に2点ほど確認したいことがあります。現時点での思いでいいです。以前ちょっとあった新設校について、「よりよい教育環境」が私の一つのキーワードなのですが、新しい学校を作るのも、絶対ではないですがあるんです。今の安芸高田市の状態、人口が減っている中で、魅力ある学校を作ることによって人を呼び寄せるとい、特色ある学校を作ることによって、保護者がこの学校に通わせてみたいなというものにして、町づくりをしていくという考え方で、実際お金がかかることで財政が厳しいのはわかっていますが、そういった攻めの姿勢の考え方は、現時点であるのでしょうか。ないのでしょうか。
委員長	次長さんが欠席なので、難しいと思います。今のご意見については、教育委員会としての現時点での姿勢、新設校での考え方はどうなのかということですよ？ 次回、回答いただくということによろしいですか。
委員	構いません。新設校にこだわっているわけではありません。確認したいだけで、気持ち的な部分で、別な考え方がないなら、ないでもいいんです。確認だけがしたいんです。
委員長	安芸高田市はみつや教育を教育推進されていますが、それに基づいた教育方針の中でいろいろ努力されていると思います。その中で統合した場合に、具体的な方法論があるかどうかという問いだろろうと思います。そういったものを含めて可能な限りの回答をいただくようお願いします。
委員	今日の話の中で、複式がいいのか、統合するかしないのかという議論をちゃんと結論を出そうという話ですが、準備委員会が立ち上がる前の時点で、教育委員会に説明してもらった中で、準備委員会とは統合を前提にいろんな条件を話し合う場だと聞いていると思うんです。統合するかしないかの議論は、準備委員会の中ではしないということだったんですよ。もし、そうであるならばこの議論を準備委員会ではない方がいいということであれば、まず保護者で集まって、統合するかしないかの意見をまとめるのが先かなと思うんです。であるならば、準備委員会は一旦止めて、準備委員会という形ではなくてまず、そこの結論を地域の方、保護者で出したらどうかと。 ただ、準備委員会を止めるというのは、教育委員会的にはダメと思われるのか、準備委員会での議論をしてもいいとなるのか、準備委員会では「するしない」の話はしないで条件の話を進めてほしいということなのか、そこをちょっと教えていただきたいです。
委員	準備委員会そのものは、統合するためにどうなのか、統合するかしないかを整理しないといけないなら保護者だけで集まって、整理しないといけないのではと思うんです。そこで、保護者はこういう意見です、準備委員会でのためにはこうすればいいのではないですか、っていう話をすべきなら、まず保護者の意見を集めないといけないのかなと。もし、準備委員会でもいいよってことなら、準備委員会ですればいいと思います。
委員	最初の議論からちょっとずれてきたという気がするんですけど、最初にこれを始めるときには、統合有無を話すのではなくて、統合を前提の意味からでしょうけど、それだったら皆さん入りませんよって話だったと思っていました。ここは、どういう条件があるのかいろいろ話す場にしたいという条件で皆さん始めたと思っていました。この場で統合有無を決めるという認識はなくて、流れの中で、だんだん動いてきているのは確かだと。どう動いていくかは皆さんで議論すればいいことだと思います。
委員	いろいろ議論はあって、統合準備委員会なので統合に向けた話をしないといけない。いろんな条件が出てきて、皆さんいろんな意見を言って、どうなのかと感じなんです。だから、統合するしないについて、私は統合しますっていう意見なんです。準備委員会なので、場所はまだしも統合に向

	<p>けて話すべき場だと思いますので、そのことについて前向きに、皆さん前向きに話してはいますが、だんだん焦点がずれてきたというのがあるので。皆さんが言われたように、原点に戻ってみて新しい学校作りの意見を出していった方がいい。そのための時間にするのがいいのかなと思います。</p>
委員長	<p>学校の代表者っていうことは然りなのですが、個人の考え方がしっかりしていないとおそらく無理だと思います。私は地域の代表として来ていますので、現状とかわからないことがありますので、さっき保護者だけで先に話すべきと言われましたが、それは公開の場で議論して頂きたいという考え方なんです。保護者の意見を聞かないと、我々地域の代表としても意見を振興会に報告できませんし、世代が違えばものすごく違うんです。教育環境が違う中での議論という形になりますので、できるだけ公の場で皆さんの個人の意見がまず第一になります。その上で立場としての意見を述べて頂くという形をして頂いて皆さんにわかっていただいて、疑問があればさらに議論して会を進めていただければと思います。</p>
委員	<p>親の立場の意見で言えば、安芸高田市は負債があつて、将来的に子どもたちに残せる町なんだろうか。新しい学校を作るのであれば、負債をしてまでもそれに見合う学校じゃないといけない。見合うようなプランを作らないとそれだけかけた意味がないと思いますし、新しい学校作りをするのであれば、地域の方や保護者が連携を取りながら学校作りをして、初めて新しい学校作りをしたらしいのではと思います。</p> <p>将来に向けての借金は負わせたくないっていうのが、親としての意見です。数字ばかりじゃないですけど、資料を頂いた中で、判断してみると今のままでは無理だろうと思います。</p>
委員長	<p>いろいろ意見が出ましたが、結論を出すのは難しいと思います。統合するという前提条件の基で今後話し合っていく、早いうちに結論を出していかないと細かい枝葉の議論ばかりしていても実が入ってこないんじゃないかという感じが致します。次回、統合する形で話をするのかしないのか、それを十分考えて頂いて、次回の協議の初めに議論をしていただきたいと提案します。いかかですか。</p>
委員	<p>結論を急がないということであれば、それでいいです。</p>
委員長	<p>勿論、そうです。統合するという前提条件で最終的に条件が全部出て、市の教育委員会に提案をして、この条件を呑めば統合しますという形になると思います。それが、教育委員会に否決されれば仕方ないですが。</p> <p>ただ、議論していく上で、統合するという前提条件で議論するのかしないのかを、次回の委員会のときに、皆さんの意見の取りまとめをさせて頂いて、ある程度の結論を議論して頂きたいと思いますので、次回までに腹をくくって結論を出して頂ければと思います。強制ではありませんので、腹をくくれなくても、大勢の中での議論に参加するという形になると思いますが、やむを得ないと思いますので、そういう形で進めていきたいと思います。よろしいですか。(異議なし)</p> <p>今日の複式学級や学級編制については、結論を出すのは難しいと思いますが、条件はこういう形で出たという意見を取りまとめさせて頂いて、今日の協議を終わりたいと思います。</p>
委員	<p>できれば校長先生方に、もし統合するならば、教育現場としてはこれだけは譲れない部分があれば、言いにくいとは思いますが教えていただきたいです。校長先生に、こうやってみたいというのも聞いてみたいです。</p>
委員長	<p>理想的な学校運営の在り方、教育現場としての在り方等の基本的な考え方をお話いただければいいのではないかと思います。ご無理なお願いだとは思いますがよろしくお願いします。</p>
委員	<p>子育て支援課課長さんにいいですか。</p> <p>保育所の3校が一緒になる予定とかがあるのかないのか、聞く機会がないので教えて下さい。</p>

事務局	<p>保育所も3年前統合に係わる規模適正化計画を立てておりまして、少子化が進むということで統合も考えております。次のステップということで計画の中にも載せていますが、施設の老朽化が進んでいる部分での対応が必要になりまして、甲田地区3園は40年ぐらい経っておりますので、新しい施設をというふうには考えています。具体的な年月は決まっております。統合に対する皆さんの意見を聞いていろいろ感じましたが、学校統合に限りなく同じスペースに近いぐらいで保育所の統合といいますか新設を考えていきたいと思っています。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。最後に閉会の挨拶をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>お仕事でお疲れのところ、熱心に議論していただきましてありがとうございました。私の方で3点ほど感じたところを簡単に述べさせていただきます。</p> <p>まず1点目が、児童生徒にとって望まれる教育環境とは、教育環境が本日のキーワードで話が進んでいたと思います。安芸高田市学校規模についてという推進計画の基になった適正化委員会からの答申の中に、割と細かくその辺りが述べられております。具体的なものではなく、望まれる教育環境ということで書かれておりますが、できれば委員さんと情報を共有したいと思いますので望まれる教育環境とはということのまとめた資料を準備させていただいて、皆さんに理解いただくことが必要なのかなと感じました。資料は次回、準備させていただきます。</p> <p>2点目は、5回目ということで教育委員会から協議項目の提案させていただきました。それぞれの項目に対して熱心に議論していただき、合併したらこういうふうになるというイメージは、協議項目を検討していただく中で、ある程度思っていたいただいていると思います。その辺も含めて本日のそろそろ結論をという議論に結びついているのだろうと思います。今後の協議項目については全部で70項目ありますが、主だったところは引き続き提案して協議していただければと思います。</p> <p>特に、教育振興部会の方では、現在「地域交流事業」「特色ある教育活動」「事前交流計画」について、統合に係わっての教育内容の充実あたりをテーマにした項目の議論を進めて頂いております。部会の意見がまとまった段階で準備委員会に報告するというようになっておりますので、早ければ次回あたりもしくは年内には、主だった教育内容の充実に係わる部分の提案ができようと思います。その辺も含めて判断をしていただくことになるんだろうと思います。</p> <p>最後に若干、スケジュールのことが出ましたが、計画通り28年の4月に統合の実現をしようと思っておりますと27年度には、統合校の整理であったり、もしくは条例の一部改正案を議会において議決をするという事務的な部分のスケジュールもごございます。仮に28年4月の統合を目指すことになれば、年内か1月ぐらいには、この準備委員会で統合についての合意形成が必要になってまいりますので、最後意見を取りまとめる会に次回はしたいとその腹積もりで参加して下さいと委員長さんの言葉がありました。まとめをしながら最終的には統合に向けての委員会の中での合意形成が手続き上の問題ですが、必要となってきます。それが、ずれこむと28年4月というのは、事務的にもスケジュール的にも少し無理になってくる部分もごございますので、結論を急いで下さいという意味ではなくて、そういったスケジュールになっているということも、少し理解をしていただきながら、今後の議論を十分にいただければと思います。各団体を代表して出ていただいて非常に負担のある任務を遂行していただいておりますということに感謝を申し上げながら今後ともひとつよろしくお願いを申し上げまして閉会にしたいと思います。本日はありがとうございました。</p>
委員長	<p>次回の開催ですが、11月中に開催するというので、また通知いただけるということです。今日は、ありがとうございました。</p>

第5回 甲田地区小学校統合準備委員会次第

日時 平成26年10月14日(火) 19時00分～
場所 甲田支所 2階会議室

1. 開 会

2. 諸般の報告

3. 協議事項

- (1) 前回の提案事項について
- (2) 学級編制について

4. 事務連絡

・次回開催予定 平成26年 月 日 ()

5. 閉 会

協議項目 第 8 号 学級編制について

平成26年10月14日 提出

協議項目	学級編制について
提案内容	<p>学級編制は、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律第四条の規定及び、県の教育委員会が定めた基準により行う。</p> <p>○広島県教育委員会が定めた学級編制基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同学年の児童で編制する学級 35人(1～2年生) 40人(3～6年生) ・複式学級(2個学年) 16人(1年生を含む場合8人)
協議結果	
確認日	平成26年 月 日 第 回 準備委員会で確認

10 甲立小学校

26.5.1現在(予測)

年度/学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
25年度	9	12	9	15	18	11	74
	1	1	1	1	1	1	6学級
26年度	10	9	13	9	15	18	74
	1	1	1	1	1	1	6学級
27年度	16	10	9	13	9	15	72
	1	1	1	1	1	1	6学級
28年度	12	16	10	9	13	9	69
	1	1	1	1	1	1	6学級
29年度	11	12	16	10	9	13	71
	1	1	1	1	1	1	6学級
30年度	19	11	12	16	10	9	77
	1	1	1	1	1	1	6学級
31年度	9	19	11	12	16	10	77
	1	1	1	1	1	1	6学級
32年度	8	9	19	11	12	16	75
	1	1	1	1	1	1	6学級

○学級編成の基準

- ・1学級の編制=1・2年生は35人学級、3年生以上は40人学級

○複式学級編成の基準

- ・隣り合う2つの学年で一定の人数に満たない場合、2つの学年で1つの学級を編制する。
- ・1年生を含む場合、つまり1・2年生の場合は、合計8名以下なら、1・2年生の複式学級となる。
- ・2年生以上の組み合わせ、2・3年生、3・4年生、4・5年生、5・6年生は、合計16名以下の場合複式学級となる。
- ・ただし、2・3年生、4・5年生の組み合わせは、学習段階が違うため変則複式といい、
県が教員を加配して単式学級にしている。

○推計の基準

- ・平成27年度以降の数値は5月1日現在の「学校区別児童生徒数調べ」による。
- ・ただし、全員普通学級入学と見込む。

11 小田小学校

26.5.1現在(予測)

年度/学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
25年度	7	9	11	10	12	12	61
	1	1	1	1	1	1	6学級
26年度	9	7	9	11	10	12	58
	1	1	1	1	1	1	6学級
27年度	7	9	7	9	11	10	53
	1	1	0.5	0.5	1	1	5学級
28年度	7	7	9	7	9	11	50
	1	1	0.5	0.5	1	1	5学級
29年度	8	7	7	9	7	9	47
	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	4学級
30年度	5	8	7	7	9	7	43
	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	4学級
31年度	3	5	8	7	7	9	39
	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	3学級
32年度	7	3	5	8	7	7	37
	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	4学級

○学級編成の基準

・1学級の編制=1・2年生は35人学級、3年生以上は40人学級

○複式学級編成の基準

・隣り合う2つの学年で一定の人数に満たない場合、2つの学年で1つの学級を編制する。

・1年生を含む場合、つまり1・2年生の場合は、合計8名以下なら、1・2年生の複式学級となる。

・2年生以上の組み合わせ、2・3年生、3・4年生、4・5年生、5・6年生は、合計16名以下の場合複式学級となる。

・ただし、2・3年生、4・5年生の組み合わせは、学習段階が違うため変則複式といい、

県が教員を加配して単式学級にしている。

○推計の基準

・平成27年度以降の数値は5月1日現在の「学校区別児童生徒数調べ」による。

・ただし、全員普通学級入学と見込む。

12 小田東小学校

26.5.1現在(予測)

年度/学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
25年度	12	16	11	16	19	13	87
	1	1	1	1	1	1	6学級
26年度	11	12	17	12	17	19	88
	1	1	1	1	1	1	6学級
27年度	20	11	12	17	12	17	89
	1	1	1	1	1	1	6学級
28年度	20	20	11	12	17	12	92
	1	1	1	1	1	1	6学級
29年度	10	20	20	11	12	17	90
	1	1	1	1	1	1	6学級
30年度	21	10	20	20	11	12	94
	1	1	1	1	1	1	6学級
31年度	22	21	10	20	20	11	104
	1	1	1	1	1	1	6学級
32年度	16	22	21	10	20	20	109
	1	1	1	1	1	1	6学級

○学級編成の基準

- ・1学級の編制=1・2年生は35人学級、3年生以上は40人学級

○複式学級編成の基準

- ・隣り合う2つの学年で一定の人数に満たない場合、2つの学年で1つの学級を編制する。
- ・1年生を含む場合、つまり1・2年生の場合は、合計8名以下なら、1・2年生の複式学級となる。
- ・2年生以上の組み合わせ、2・3年生、3・4年生、4・5年生、5・6年生は、合計16名以下の場合複式学級となる。
- ・ただし、2・3年生、4・5年生の組み合わせは、学習段階が違うため変則複式といい、
県が教員を加配して単式学級にしている。

○推計の基準

- ・平成27年度以降の数値は5月1日現在の「学校区別児童生徒数調べ」による。
- ・ただし、全員普通学級入学と見込む。

10 (仮称)甲田小学校

26.5.1現在(予測)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
28年度	39	43	30	28	39	32	211
	2	2	1	1	1	1	8学級
29年度	29	39	43	30	28	39	208
	1	2	2	1	1	1	8学級
30年度	45	29	39	43	30	28	214
	2	1	1	2	1	1	8学級
31年度	34	45	29	39	43	30	220
	1	2	1	1	2	1	8学級
32年度	31	34	45	29	39	43	221
	1	1	2	1	1	2	8学級

○学級編成の基準

- ・1学級の編制=1・2年生は35人学級、3年生以上は40人学級

○複式学級編成の基準

- ・隣り合う2つの学年で一定の人数に満たない場合、2つの学年で1つの学級を編制する。
- ・1年生を含む場合、つまり1・2年生の場合は、合計8名以下なら、1・2年生の複式学級となる。
- ・2年生以上の組み合わせ、2・3年生、3・4年生、4・5年生、5・6年生は、合計16名以下の場合複式学級となる。
- ・ただし、2・3年生、4・5年生の組み合わせは、学習段階が違うため変則複式といい、
県が教員を加配して単式学級にしている。

○推計の基準

- ・平成27年度以降の数値は5月1日現在の「学校別児童生徒数調べ」による。
- ・ただし、全員普通学級入学と見込む。